
2026年春フラッグシップインターン

最終報告会

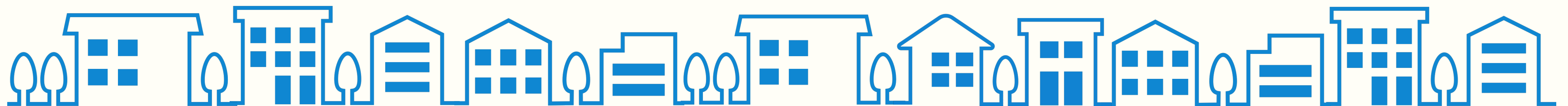


～私たちが1か月で学んだこと、成果について～



- プロジェクトの内容と目的
- 1か月間の取り組みと成果
- 4つの成果内容
- 目標の達成度とその理由

- 社内浸透施策の提案
- 残された課題
- 学びと感じたこと



プロジェクト内容について

活動日程 2026/2/16～2026/3/13

活動場所 株式会社カネダイ 人事部

プロジェクト背景

2025年6月27日に社長から、MVV(ミッション・ビジョン・バリュー)が発表されたものの、社内に十分に浸透していなかった。その為、共通言語化を図るべく、プロジェクトが始動した。

プロジェクト内容

- MVVの言語化
- MVVの社内向けビジュアル資料の作成
- 社内共有会の企画と実施

主な目的

社員がMVV制定の背景や存在意義を理解し、MVVをすぐに言えるようになっていたり、日々の行動との紐付けができるようになるなど、社内の「共通言語」として機能し始める状態を目指す。

宮城県

起業・経営支援 公開日: 2025.11.23

**【経営企画・組織開発】変革期の人事戦略を体験。
140名の組織を動かす、カルチャー浸透デザイナー募集!**

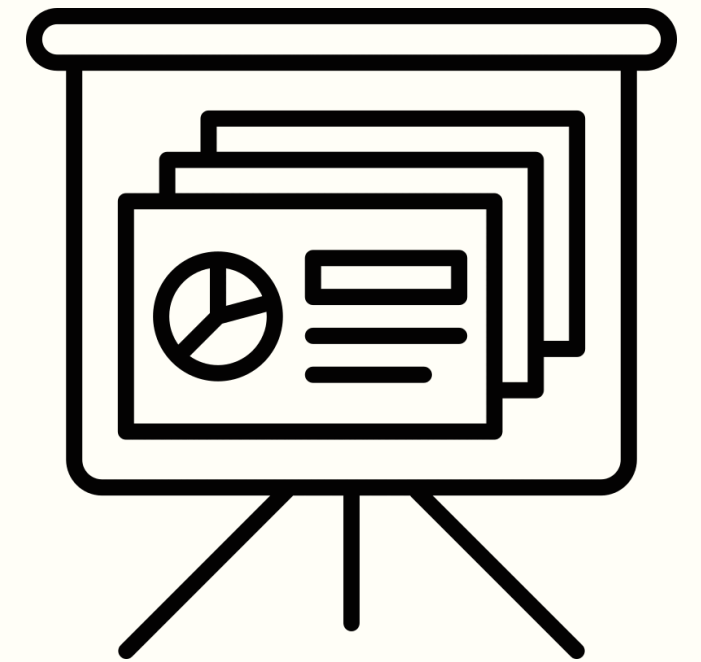
株式会社カネダイ



変更後のプロジェクト内容

- ①カネダイの各事業部へのヒアリング
- ②社員のMVV理解度把握を目的としたアンケート作成
- ③①と②を基に、MVVの言語化
- ④③を基に、MVVのビジュアル資料

※施策の考案につきましては、時間の都合上
スライド内での提案のみ



1か月間行った取り組み

1か月間の取り組みと成果

魚に関する、全体に共通すること

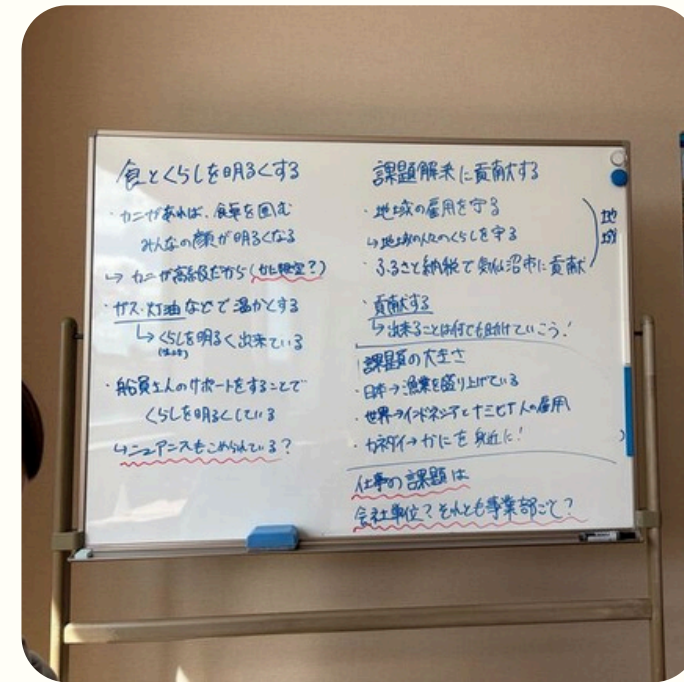
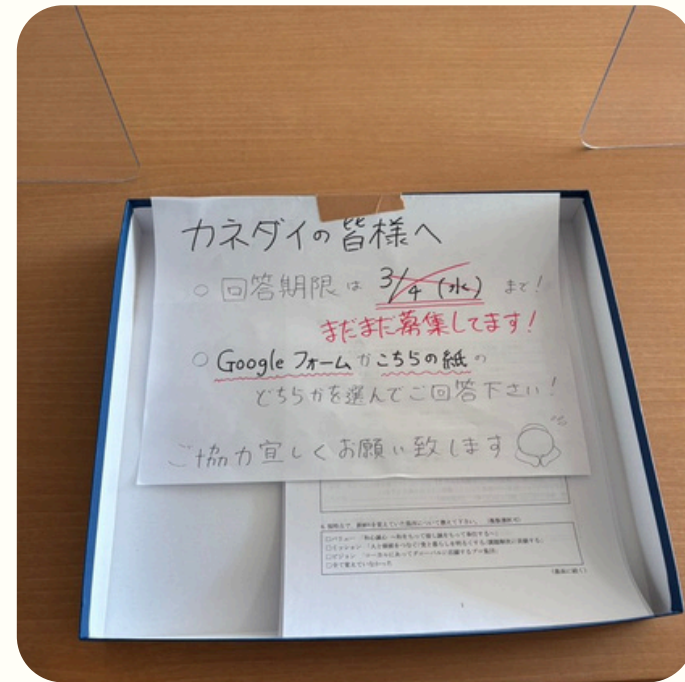
- ・5個や7個でセット販売も行っている
- ・魚は必ず売り切る(50円でも、タダでも、市場に残ることはない)
- ・延縄漁業の種類について
- 遠洋漁業 8~12か月 近海漁業 1週間~1か月
- ・多岐に渡る、冷凍技術がある→だからこそ、他に打ち上げられた魚も送れる
- ・乗組員さんの万が一の船着き場として、有名な場所が気仙沼
- ・関わっている船は、カツオ船、巻き網船、イワシ船、オウメ流し船など
- ・石巻、小山田、気仙沼の3つが、宮城にある漁港場所(大きい魚の)

仕事に関する、全体に共通すること

- ・色々な船員さんのサポート業務がメイン
- 身元引受人になって、警察に行くという業務もある
- ・決まった仕事がないので、毎日バラバラの仕事をしている
- ・1~5月が閑散期 6~12月が繁忙期
- ・ガソリン事業が震災でなくなって、廻来船事業が始まった
- スタンド事業~船の油入れ事業~廻来船事業 の変化の順番
- ・色々な仕事以外のことを船頭さんから学べる
- ・5年は生活リズムが掴めなかった(船員の個性もあるから)
- 生活リズムの急な変化は辛かった

いわずきさんトーク

- ・やりがいとしては、苦勞が形に繋がるのが良い
- ・魅力は、社員思いで産休育休がとりやすい(仕事がしやすい)
- ・強みは、あつしさん(いたさん)うきさんと従業員の質の良さ
- お互い年齢が異なる為、明るく、和気あいあいと仕事ができる(男まみれなの)
- 繋がりは特に感じる
- ・問屋の中では、一番漁獲量が多い
- 33億円も水揚げしている 普通は9億円ほど



新MVVとは?

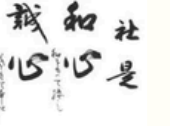
この新MVVは2025年6月27日に社長より発表されました。
 新MVVには、各事業部の専門性が高まっていき、事業部ごとの権限を拡大させていく中で、「ここはカネダイ」という輪を持ち、共通言語として機能させたいという思いが込められています。
 新MVVは「Mission・Vision・Value」の略です。

【MVVそれぞれの定義】

- Value (バリュー)
カネダイの変わらない価値観であり、仕事上の行動指針です。
- Mission (ミッション)
カネダイの社会的な存在意義であり、カネダイがやらなければいけないことでもあります。
- Vision (ビジョン)
カネダイが2035年になりたい姿を表しています。皆様には身近なゴール地点だと思って頂きたいです。

Value(バリュー)

和心誠心
 ~和をもって接し誠をもって奉仕する~



「和心」：物腰柔らかく接し、まずは受け入れて、相手と仲良くすること。
 「誠心」：嘘をつかず、誠実に相手と向き合うことで、信頼を得られること。
 相手を尊重する気持ち(和心)を持った上で、相手のため・会社のためになることは、遠慮せず、相手に率直に伝えられる(誠心)姿勢が大切。

ヒアリング

アンケート

言語化

資料作成

1週目(2/16~2/20)

2週目(2/24~2/27)

3週目(3/2~3/6)

4週目(3/9~3/13)

社長インタビュー、
 各事業部を訪問し雰囲気を知る。社員に話を聞く
 →各事業部の特色を把握

カネダイ全社員に向けた
 MVVの理解度調査
 →社員のリアルな視点や、現状を把握

アンケートやヒアリングを
 基に、言語化を進める
 →カネダイらしさや各事業部の
 関連性を高める

社内掲示用のポスターを
 用途によって2種類作成
 →①廊下掲示用
 ②配布、トイレ掲示用

1か月間で達成できた成果内容

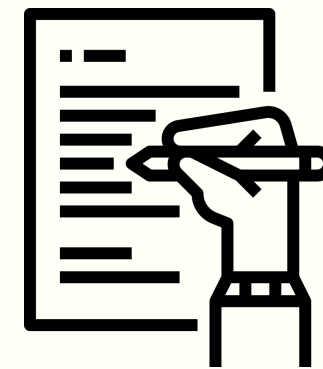
1か月間の取り組みと成果

①各事業部ごとへのヒアリングまとめ



- ・各事業部、チームごとの具体的な仕事内容を知り、言語化に活用できた
- ・どんな雰囲気ですべてが働いているのかを新たに発見できた

②MVVの理解度調査アンケート



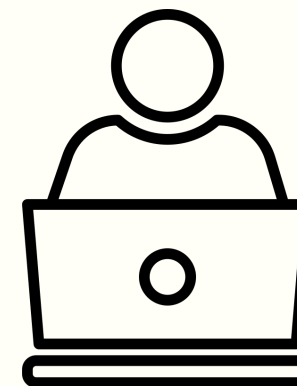
- ・現時点で、MVVに対してどのような理解をしているのか知ることができた
- ・MVVをどのように言語化すれば伝わりやすいのか学ぶことができた

③MVVの言語化と説明文の考案



- ・わかりやすさを第一に、シンプルな言葉遣いで作成することができた
- ・社長インタビューで聞いたMVV策定の想いを言葉に反映させることができた

④MVVのビジュアル資料の作成



- ・言葉の羅列ではなく、イラストや写真を用いてイメージしやすく作成できた
- ・各事業部ごとの例を記載することによって、自分の仕事と結びつけやすくなること

成果①：各事業部ごとへのヒアリング

4つの成果内容

実施日

2/17~2/26

ヒアリングした人数

19人

目的

各事業部を知るなど

<p>近郊配達部 近郊配達部ヒアリング</p> <p>近郊配達部 近郊配達部ヒアリング</p> <p>近郊配達部 近郊配達部ヒアリング</p>	<p>漁業事業部 漁業事業部ヒアリング</p> <p>漁業事業部 漁業事業部ヒアリング</p> <p>漁業事業部 漁業事業部ヒアリング</p>	<p>総合エネルギー事業部 総合エネルギー事業部ヒアリング</p> <p>総合エネルギー事業部 総合エネルギー事業部ヒアリング</p> <p>総合エネルギー事業部 総合エネルギー事業部ヒアリング</p>	<p>営業 営業ヒアリング</p> <p>営業 営業ヒアリング</p> <p>営業 営業ヒアリング</p>	<p>週末船事業部 週末船事業部ヒアリング</p> <p>週末船事業部 週末船事業部ヒアリング</p> <p>週末船事業部 週末船事業部ヒアリング</p>
<p>2026年春FSI_近郊配達部...</p> <p>最終閲覧 17:01</p>	<p>2026年春FSI_漁業事業部...</p> <p>最終閲覧 17:01</p>	<p>2026年春FSI_総合エネルギー...</p> <p>最終閲覧 17:01</p>	<p>2026年春FSI_営業</p> <p>最終閲覧 17:01</p>	<p>2026年春FSI_週末船事業</p> <p>最終閲覧 17:01</p>

成果②：MVVの理解度調査アンケート

4つの成果内容

実施日

2/27~3/4

回答者数

59人/133人(44%)

質問内容・目的

MVVに対する理解度の調査

MVVに関するエピソード

MVV浸透のための施策の調査

2026年2月27日
カネダイの皆様へ
株式会社カネダイ人事部

新MVVに関する社内アンケート(匿名)のお願い

この度は、アンケート回答にご協力頂き誠にありがとうございます。
現在、私達は昨年6月に社長から発表されました新MVV(ミッション・ビジョン・バリュー)の社内浸透を図り、共通言語として機能させることを目的としたプロジェクトに取り組んでおります。
このアンケートの目的としては、新MVVの理解度把握になっております。
匿名でのアンケートになりますので、お気軽に回答して頂ければと思います。
お忙しいところ大変恐縮ですが、お時間を頂けると幸いです。

1.所属している事業部
水産食品事業部 漁業事業部 廻来船事業部 総エネルギー事業部 総務部

2.役職
役員、部長、部長代理 次長、課長 課長代理、係長、主任 役職なし

3.勤続年数
1年未満 1年以上10年未満 10年以上

4.仕事をする中で新MVVについて考える・意識する頻度について教えてください。
毎日 週に1回くらい 月に1回くらい 年に1回くらい
あまり意識する機会がない

5.「毎日、週に1回、月に1回」新MVVについて考えられている方にお聞きします。どのようなタイミングで新MVVについて考えますか。(例：顧客との会話の中で、朝礼の時間、上司との会話の中で、等々)

6.現時点で、新MVVを覚えていた箇所について教えてください。(複数選択可)
バリュー 「和心誠心 ~和をもって接し誠をもって奉仕する~」
ミッション 「人と価値をつなぐ/食と暮らしを明るくする/課題解決に貢献する」
ビジョン 「ローカルにあってグローバルに活躍するプロ集団」
全て覚えていなかった

(裏面に続く)

1

↑実際の紙アンケート

↓実際のGoogle Form

新MVVに関する社内アンケート(匿名)

こちらは、新MVV(ミッション・ビジョン・バリュー)浸透に関するアンケートです。
△回答期限：3月4日(水曜)△
※より多くの皆様のお声を聞きたいため期限を延長し、引き続き募集しております。

カネダイの皆様へ

お疲れ様です。
ご多忙の中、温かいご指導頂き、誠にありがとうございます。
現在、私達は昨年6月に社長から発表されました新MVV(ミッション・ビジョン・バリュー)の社内浸透を図り、共通言語として機能させることを目的としたプロジェクトに取り組んでおります。

今回は、「現場のリアルな視点」をぜひ学ばせて頂きたく、アンケートを作成しました。
匿名でのアンケートになりますので、お気軽に回答して頂ければと思います。

お忙しいところ大変恐縮ですが、お時間をいただけますと幸いです。
皆様からいただいた貴重なアドバイスは、必ず提案に活かしてまいります！

* 必須の質問です

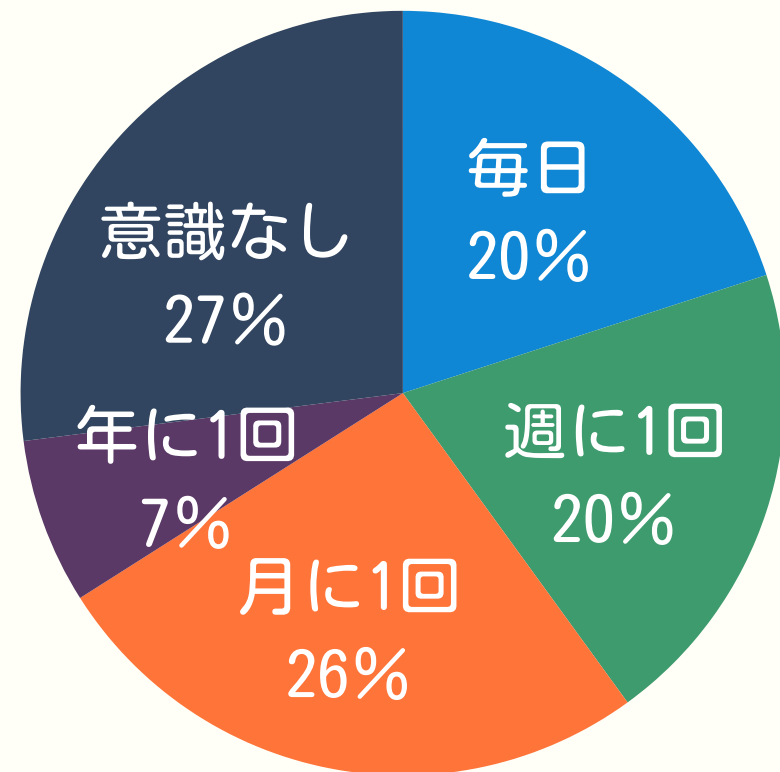
1.所属している事業部*

- 水産食品事業部
- 漁業事業部
- 廻来船事業部
- 総エネルギー事業部
- 総務部

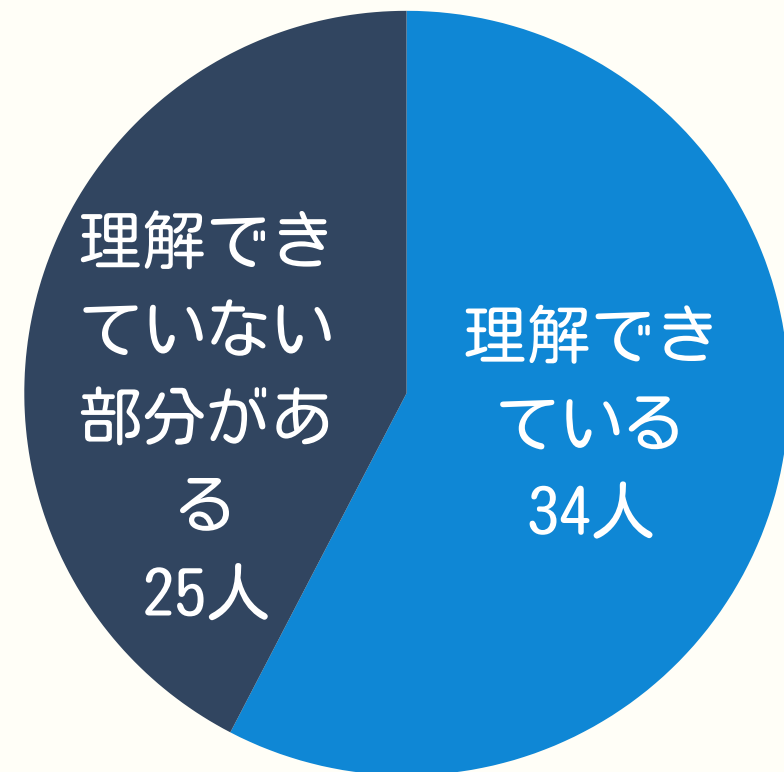
成果②：アンケート調査結果

4つの成果内容

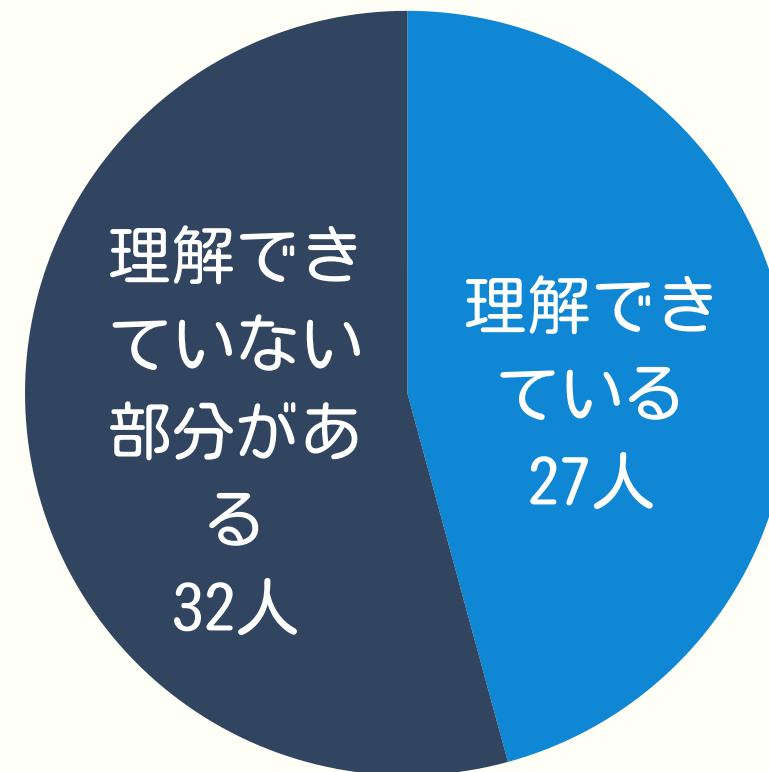
MVVを考えてる頻度



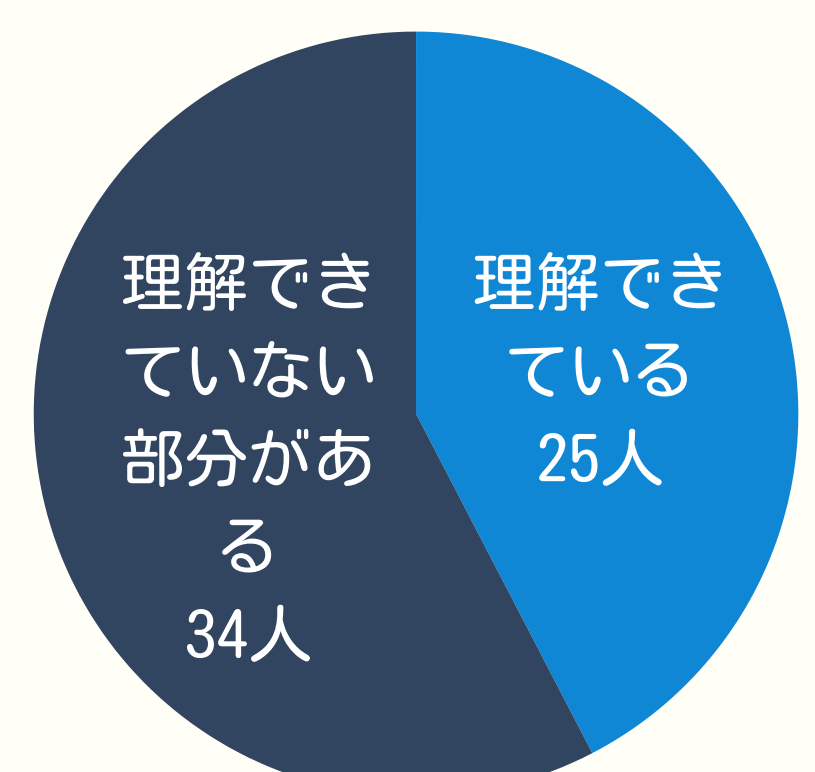
バリューへの理解度



ミッションへの理解度



ビジョンへの理解度



考察

- ・ MVVはまだまだ日常に浸透していない
→朝礼で唱和する水産食品事業部は、社是だけは意識している人が多かった
- ・ バリュー（社是）を理解されている人は多かった
→以前からある社是は社内に浸透している、と考えた
- ・ ミッションとビジョンは比較的、理解が出来ている人が少なめ

成果②：アンケート調査結果

4つの成果内容

バリュー

- ・ ミッション、ビジョン、バリューの中で一番理解されている方が多かった
- ・ バリュー=社是ということがまだ定着していないという方も

ミッション

- ・ 「人と価値をつなぐ」の理解が難しいと回答した方が多かった

ビジョン

- ・ 理解が難しい理由として、具体的にどのような行動を指すのかが分かりにくい、と回答した方が多かった

施策

- ・ MVV浸透のための施策案の内、「ポスターの掲示」が最も多い（24人40.7%）
- ・ 「朝礼でMVVを唱和する」と回答されている方は水産食品事業部である割合が非常に高い

全体

- ・ ミッション、ビジョン、バリューそれぞれの定義を理解することが難しい、と回答された方が一定数いた

成果③：MVVの言語化と説明文の考案

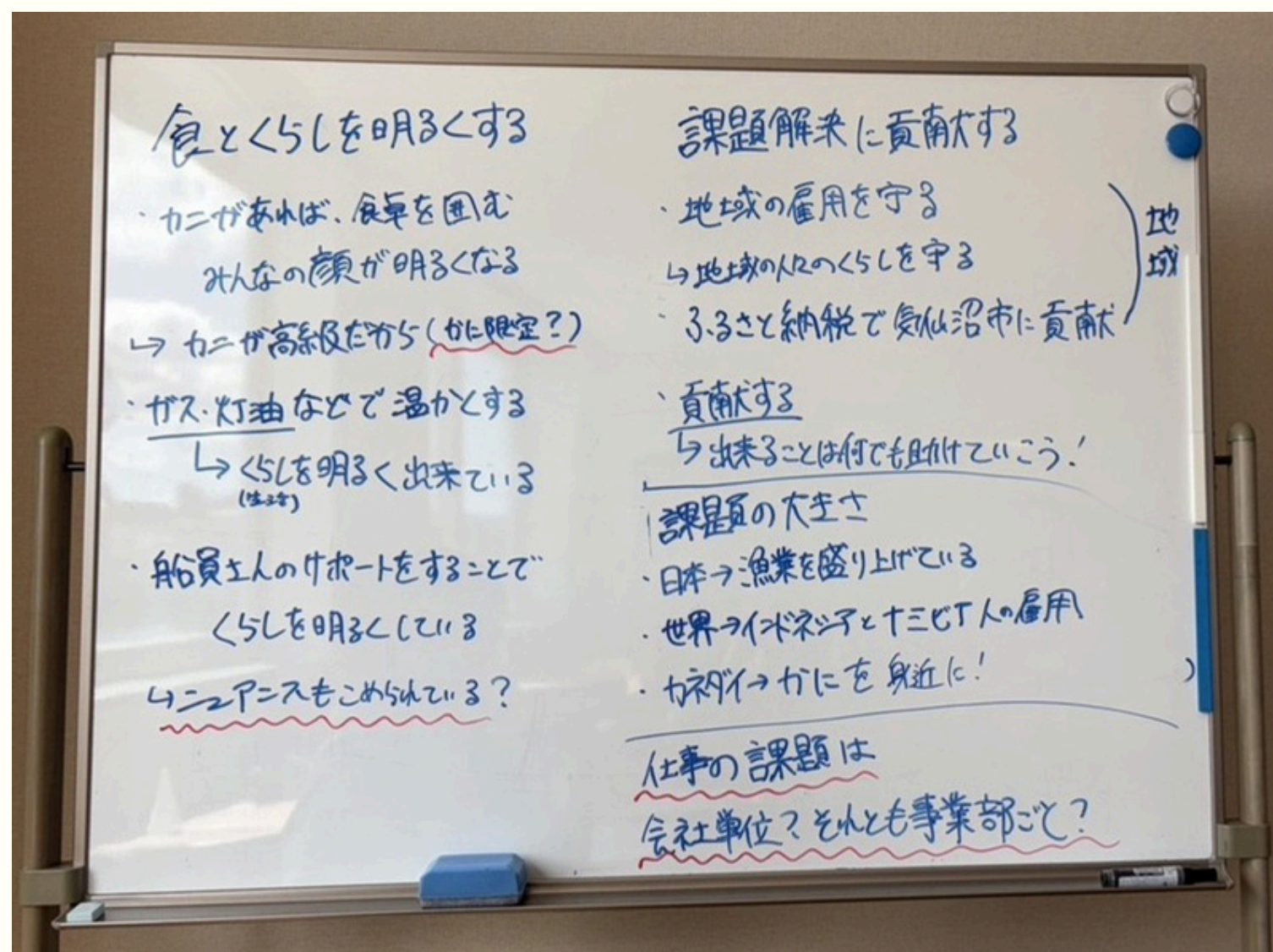
4つの成果内容

実施日

3/4~3/11

ポイント

具体的な場面を想定させる文にした



← ホワイトボードで言語化整理

← 言語化の清書

和心誠心
 「和心」とは物腰柔らかく接し、まずは受け入れて、相手と仲良くすること。
 「誠心」とは嘘をつかず、誠実に相手と向き合うことで、信頼を得られること。

相手を尊重する気持ち(和心)を持った上で、相手のため・会社のためになることは、遠慮せずに相手に率直に伝えられる(誠心)姿勢が大切。

例
 水産食品事業部：商品を販売するにあたって、カナダイの不利になる
 総合エネルギー事業部：お客様がガスや石油を滞りなく快適に利用頂く
 心をかける
 観光船事業部：船員さんからのお願いを快く受け入れ、誠実に対応する
 漁業事業部：自社の船にトラブルが起きた際すぐに対応できる様に常に
 総務部：社員同士の人間関係を取り持ち、組織が円滑に機能するように

課題解決に貢献する
 「カナダイとしてできることは何か」と常に考え、その課題の大小は問わず、全力で取り組む。地域にありながらも、日本全国・世界で活動しているカナダイだからこそ、地域から世界まで幅広い課題を解決する。
 特に、地域においては人々のくらしを守るために、漁業やエネルギー面などを通して、気仙沼に貢献し続け、盛り上げていく。

例
 仕事を通しての課題解決 ・ふるさと納税
 会社としての貢献 ・寄付 ・雇用創出

各事業部ごと
 水産食品事業部 ・ふるさと納税→気仙沼に貢献
 総合エネルギー事業部 ・空き家事業 ・灯油の配送(灯油難民)
 漁業事業部 外国人船員の雇用→失業率の減少に貢献
 観光船事業部 カツオの水揚げ量日本一に貢献 ・気仙沼市の漁業を盛り上げる
 総務部 ・気仙沼市内に次世代の担い手を誘致(Uターン、Iターン等)
 ・働き方改革(仕事の専門分担)

人と価値をつなぐ
 本来つながらないものがカナダイを通じて、つながることで新たな価値
 場所には人がいるからこそ、食卓、市場、海などといった場所から価値
 をもたらしていく。

例 水産食品事業(営業) ・メーカーと市内の飲食店や施設 ・お
 (工場) ・お客様と海鮮
 総合エネルギー ・石油やガスとお客様
 観光船事業 ・漁師と食卓 ・漁師と気仙沼
 漁業事業 ・漁師と食卓 ・海外と気仙沼
 総務部 ・社員と気仙沼 ・社員と健康 ・社員とラ

食とくらしを明るくする
 カナダイに関わる人々の食とくらしを明るくする。
 この言葉には大きく分けて3つの意味合いが込められている。

例
 1つ目は、カニやマグロなどを食べることで、食卓を囲むお客様の顔を
 明るくする。(水産食品事業、漁業事業、観光船事業)
 2つ目は、ガスや灯油などのエネルギーを通して、家を温かくすること
 ができる。(総合エネルギー事業部)
 3つ目は、魚を獲ってきてくれる船員さんのサポートを通して、船員さん
 ができる。(漁業事業、観光船事業)
 これら3つの意味を通して、これまで以上にお客様の顔を明るくし続け

ローカルにあってグローバルに活躍するプロ集団
 カナダイに関する全ての場所で、その土地ならではの強みを変え、活かしていく。
 何か負けないものは社員それぞれで異なる。
 だからこそ、一人一人の強み・個性を活かしあいながら、チームまたは個人で最高のモノ・
 サービスを作りあげる。仕事にやりがいを感じながらも、責任を持って挑戦を続ける。

例
 水産食品事業部 ・烟台や気仙沼といった地域から自社製品をさらに海外へ販売
 総合エネルギー事業部
 ・燃料・通関手続きという面から、グローバルな漁業活動を支援している
 漁業事業部
 ・気仙沼(ローカル)から海外にいる船(グローバル)のサポートをしている
 一人一人の専門分野を活かしたサポート体制
 漁師さんをさらにサポートするために一人一人が自分の専門分野で何が出来るのかを考
 える→深化させる
 観光船事業部
 ・気仙沼(ローカル)で広く船のサポートをしている
 外国人船員さんの直接的なサポート(グローバルに活躍)
 総務部
 ・海外送金やグローバル人材の採用で、グローバルに活躍している。

+大切にしているもの
 「当たり前」のことだからこそ、あえて言葉にし、常に意識したいこと。
 日々の仕事の質を高める、行動指針の3原則。
 「人を大切にすること」：どの場面においても、カナダイに関わる全ての人を大切にすること。
 「安全を重視すること」：工場、出張中などどんな時も自分自身・周囲の人の安全が1番大切。
 「挑戦と工夫」：長期的にカナダイとして生き抜くためには挑戦と工夫が大切。

成果④：MVVのビジュアル資料の作成

4つの成果内容

実施日

3/6~3/12

ポイント

カナダイのロゴの色を使用



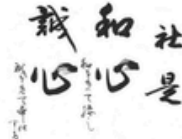
MVVとは?

このMVVは2025年6月27日に社長より発表されました。
MVVには、各事業部の専門性が高まっていき、事業部ごとの権限を拡大させていく中で、「ここはカナダイ」という軸を持ち、共通言語として機能させたいという思いが込められています。
MVVは「Mission・Vision・Value」の略です。

【MVVそれぞれの定義】
Value（バリュー）
カナダイの変わらない価値観であり、仕事上の行動指針となります。
Mission（ミッション）
カナダイの社会的な存在意義であり、カナダイが果たすべき使命となります。
Vision（ビジョン）
カナダイが2035年になりたい姿であり、身近なゴール地点となります。

バリュー(社是)

和心誠心
～和をもって接し誠をもって奉仕する～



「和心」：物腰柔らかく接し、まずは受け入れて、相手と仲良くすること。
「誠心」：嘘をつかず、誠実に相手と向き合うことで、信頼を得られること。

相手を尊重する気持ち（和心）を持った上で、相手のため・会社のためになることは、遠慮せずに相手に率直に伝えられる（誠心）姿勢が大切。

各事業部ごとに当てはめると…
水産食品：商品を販売するにあたって、カナダイの不利益になることも正直に伝える(営業)
広く文化を受け入れ、仲間として共に働く(工場)
漁業：自社の船にトラブルが起きた際、すぐに対応できる様に常に船員さんに寄り添う
廻来船：船員さんからのお願いを快く受け入れ、誠実に対応する
総合エネルギー：お客様がガスや石油を滞りなく快適に利用頂くために、迅速な対応を心がける
総務：社員同士の人間関係を取り持ち、組織が円滑に機能するように支える

ビジョン (目指す姿)

ローカルにあってグローバルに活躍するプロ集団

カナダイに関する全ての場所で、その土地ならではの強みを支え、活かしていく。
何か負けないものは社員それぞれで異なる。
だからこそ、一人一人の強み・個性を活かしあいながら、チームまたは個人で最高のモノ・サービスを作りあげる。仕事にやりがいを感じながらも、責任を持って挑戦を続ける。

各事業部ごとに当てはめると…
水産食品：烟台や気仙沼といった地域から自社製品を海外に販売
漁業：船員さんをさらにサポートするために、
一人一人が自分の専門分野で何ができるのかを考える＝深化させる
廻来船：気仙沼（ローカル）で広く船のサポートをしている
外国人船員さんの直接的なサポート（グローバルに活躍）
総合エネルギー：燃料・通関手続きという面から、グローバルな漁業活動を支えている
総務：海外送金やグローバル人材の採用で、グローバルに活躍している

ミッション (使命)

人と価値をつなぐ



本来つながらないものがカナダイを通じてつながることで新たな価値が生まれる。
場所には人がいるからこそ、食卓、市場、海などといった場所から価値を見出し、そこにいる人とつなぐ。

各事業部ごとに当てはめると…
水産食品：メーカーと市内の飲食店や施設、お客様とあらゆる商品(営業)
お客様と海鮮(工場)
漁業：漁師と食卓、海外と気仙沼
廻来船：漁師と食卓、漁師と気仙沼
総合エネルギー：石油やガスとお客様
総務：社員と気仙沼、社員と健康、社員とデジタル

食とくらしを明るくする



カナダイに関わる人々の食とくらしを明るくする。

- 一、カニやマグロなどを食べることで、食卓を囲むお客様の顔を明るくすることができる。
- 二、ガスや灯油などのエネルギーを通して、家を温かくすることでお客様の顔を明るくすることができる。
- 三、魚を獲ってきてくれる船員さんのサポートを通じて、船員さんの顔を明るくすることができる。

これら3つの意味を通して、これまで以上にお客様の顔を明るくし続ける。

課題解決に貢献する



「カナダイとしてできることは何か」と常に考え、その課題の大小は問わず、全力で取り組む。地域にありながらも、日本全国・世界で活動しているカナダイだからこそ、地域から世界まで幅広い課題を解決する。

カナダイ全体、各事業部ごとに当てはめると…
会社として：地域への寄付、社員を雇うことによる雇用創出
水産食品：ふるさと納税で気仙沼に貢献
漁業：外国人船員の雇用で世界の失業率の減少に貢献
廻来船：カツオの水揚げ量日本一に誇り、気仙沼市の漁業の盛り上げに貢献
総合エネルギー：空き家事業で伝統的建造物の保存に貢献
灯油の配達で灯油難民の生活サポートに貢献
総務：気仙沼市内に人材を誘致（Uターン、Iターン等）、働き方改革

+大切にすること

当たり前のことだからこそ、あえて言葉にし、常に意識したいこと。日々の仕事の質を高める、行動指針の三原則。

「人を大切にすること」：どの場面においても、カナダイに関わる全ての人を大切にすること。
「安全を重視すること」：工場、出張中、どんな時も自分自身・周囲の人の安全が1番大切。
「挑戦と工夫」：長期的にカナダイとして生き抜くためには挑戦と工夫が大切。

発行元：株式会社カナダイ人事部

←廊下掲示用の大判ポスター

株式会社カナダイ



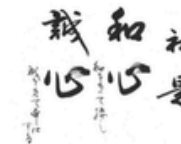
※MVVとはミッション、ビジョン、バリューの略



Value(社是)

和心誠心～和をもって接し誠をもって奉仕する～

「和心」とは物腰柔らかく接し、まずは受け入れて、相手と仲良くすること。
「誠心」とは嘘をつかず、誠実に相手と向き合うことで、信頼を得られること。
相手を尊重する気持ち（和心）を持った上で、相手のため・会社のためになることは、遠慮せずに相手に率直に伝えられる（誠心）姿勢が大切。



Mission(使命)

人と価値をつなぐ	食とくらしを明るくする	課題解決に貢献する
 ・本来つながらないものがカナダイを通じて、つながることで新たな価値が生まれる。 ・場所には人がいるからこそ、食卓、市場、海などといった場所から価値を見出し、そこにいる人とつなぐ。	 込められた3つの意味合い ①美味しいものを食べて、食卓を囲むお客様の顔を明るく ②エネルギーを通して、お客様の家を温かく、お顔を明るく ③船員さんのサポートを通じて、船員さんのお顔を明るく	 ・「カナダイとしてできることは何か」と常に考え、その課題の大小は問わず、全力で取り組む。 ・地域にありながらも、日本全国・世界で活動しているカナダイだからこそ、地域から世界まで幅広い課題を解決する。

Vision(2035年までに目指す姿)

ローカルにあってグローバルに活躍するプロ集団
カナダイに関する全ての場所で、その土地ならではの強みを支え、活かしていく。何か負けないものは社員それぞれで異なる。
だからこそ、一人一人の強み・個性を活かしあいながら、チームまたは個人で最高のモノ・サービスを作りあげる。仕事にやりがいを感じながらも、責任を持って挑戦を続ける。

+大切にすること

「当たり前の」ことだからこそ、あえて言葉にし、常に意識したいこと。日々の仕事の質を高める、行動指針の三原則
「人を大切にすること」：どの場面においても、カナダイに関わる全ての人を大切にすること。
「安全を重視すること」：工場、出張中などどんな時も自分自身・周囲の人の安全が1番大切
「挑戦と工夫」：長期的にカナダイとして生き抜くためには挑戦と工夫が大切

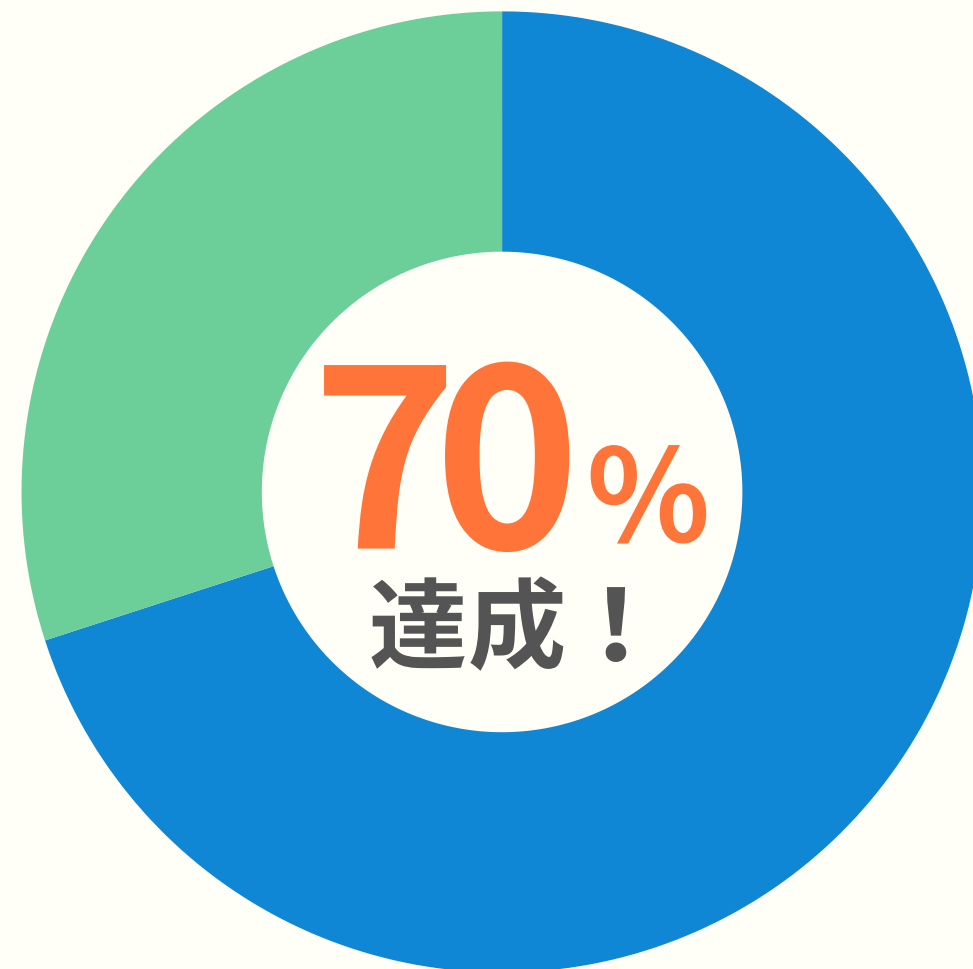
発行元：株式会社カナダイ人事部

←トイレ掲示や配布用の万能チラシ

目標の達成度とその理由

目標の達成度とその理由

達成度



- 達成できた
- 達成できなかった

70%の理由

- ・ MVVの言語化およびビジュアル資料を完成させることができた。各事業部インタビューとアンケートの知見を活かし、伝わる言葉を資料に落とし込むことができた
- ・ ヒアリングを通して、人事部の方々も知らない仕事内容や雰囲気をもとめることができた
→今後別の機会に応用できる、資料まとめを行うことができた

-30%の理由

- ・ ポスターを実際に掲示して、社員の皆さんからフィードバックを頂くことができなかった
- ・ アンケートの回収を促したものの、あまり回収率を上げることができなかった

MVV浸透施策の提案

社内浸透施策の提案

目的

MVVを行動指針として頼れる存在にする
MVVを自分の言葉で説明できるようになる
MVVについて考える機会を設ける→まずは、自分の中に腹落ちしてもらう



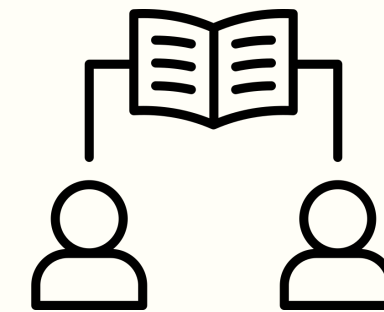
話し合いの場づくり

日常で〇〇を感じた瞬間は？
〇〇なとき、MVVに基づけば
どんな行動ができるか？といっ
た具体的なテーマを設ける



MVVによる表彰

- ・ MVVを体現している人を表彰する→バリュー賞、ミッション賞、ビジョン賞の3部門
- ・ 上半期と下半期の年二回



エピソードの共有

MVVに関する、自分が体験したエピソードを共有し合う
→ノートやポスターを各事業部内の部屋に設置

残された課題

- 01 アンケート回収率の向上**

声掛けなどのやるべきことは行ったが、50%に満たなかった。今後アンケートを実施していく上ですべき具体的な策とは？
- 02 ポスターに対する社員からの意見**

実際にカネダイの皆さんがポスターによってどれほど理解を深めることができたのか？改善する部分は？
- 03 MVVについて考える習慣作り**

自分1人で理解するのか、社員同士で理解を深め合っていくのか。(共有会など)

01
回収率の向上

02
フィードバック

03
習慣作り

学びと感じたこと

学び

- 声かけの大切さ、熱意を伝えること
→食堂での声かけで10件以上集まった
- 言葉の繊細さ
→アンケートでも、言語化の際にも感じたこと
- 予定通りに物事を進める難しさ
→ゆとりを持った計画を立てる必要性
- 相手の立場になって考えること
→言語化にあたり、社員に寄り添う考えをすること
- 自分の考えをまとめること
→意見を相手に伝える為に、1度自分で整理をつけないといけないこと(ダラダラ話してはいけない)
- お互いをリスペクトし合うこと
→長所を生かして、得意な部分を任せること

感じたこと

社長の発言と自分たちの学びを活かし、混ぜながら言語化を進めていくことが、完成に近づくにつれて楽しく、達成感があった。また、女性で管理職について働いている方々を間近にみて、女性で引っ張る方々に改めて憧れた。将来は率先して、女性が働きやすい会社作りをしたい。

一つ一つの言葉の意味を細分化して言語化を進める工程は難しかったが、一つの言葉を深く考えることに楽しさも感じた。人事の仕事を間近で見ると、やりがいでなく、実際に聞かなければ分からなかった人事の難しさも知ることができた。

■ 終わり

ご清聴ありがとうございました！



株式会社カネダイ



※MVVとはミッション、ビジョン、バリューの略

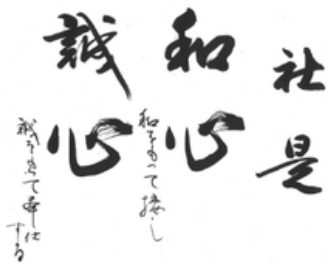


カネダイ

Value(社是)

和心誠心～和をもって接し誠をもって奉仕する～

「和心」とは
物腰柔らかく接し、まずは受け入れて、相手と仲良くすること。
「誠心」とは
嘘をつかず、誠実に相手と向き合うことで、信頼を得られること。
相手を尊重する気持ち（和心）を持った上で、相手のため・会社のためになることは、遠慮せずに相手に率直に伝えられる（誠心）姿勢が大切。



Mission(使命)

人と価値をつなぐ



- ・本来つながらないものがカネダイを通じて、つながることで新たな価値が生まれる。
- ・場所には人がいるからこそ、食卓、市場、海などといった場所から価値を見出し、そこにいる人とつないでいく。

食とくらしを明るくする



込められた3つの意味合い

- ①美味しいものを食べて、食卓を囲むお客様のお顔を明るく
- ②エネルギーを通して、お客様の家を温かく、お顔を明るく
- ③船員さんのサポートを通じて、船員さんのお顔を明るく

課題解決に貢献する



- ・「カネダイとしてできることは何か」と常に考え、その課題の大小は問わず、全力で取り組む。
- ・地域にありながらも、日本全国・世界で活動しているカネダイだからこそ、地域から世界まで幅広い課題を解決する。

Vision(2035年までに目指す姿)



ローカルにあってグローバルに活躍するプロ集団

カネダイに関する全ての場所で、その土地ならではの強みを支え、活かしていく。
何か負けないものは社員それぞれで異なる。

だからこそ、一人一人の強み・個性を活かしあいながら、チームまたは個人で最高のモノ・サービスを作りあげる。仕事にやりがいを感じながらも、責任を持って挑戦を続ける。



+大切にしているもの

「当たり前」のことだからこそ、あえて言葉にし、常に意識したいこと。日々の仕事の質を高める、行動指針の三原則

- 「人を大切にする」：どの場面においても、カネダイに関わる全ての人を大切にする
- 「安全を重視する」：工場、出張中などどんな時も自分自身・周囲の人の安全が1番大切
- 「挑戦と工夫」：長期的にカネダイとして生き抜くためには挑戦と工夫が大切



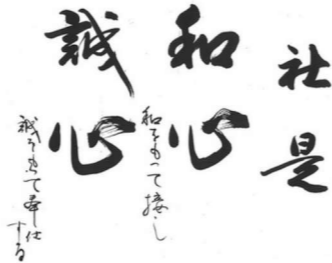
MVVとは?

このMVVは2025年6月27日に社長より発表されました。
 MVVには、各事業部の専門性が高まっていき、事業部ごとの権限を拡大させていく中で、「ここはカネダイ」という軸を持ち、共通言語として機能させたいという思いが込められています。
 MVVは「Misson・Vision・Value」の略です。

- 【MVVそれぞれの定義】
- Value (バリュー)
カネダイの変わらない価値観であり、仕事上の行動指針となります。
- Misson (ミッション)
カネダイの社会的な存在意義であり、カネダイが果たすべき使命となります。
- Vision (ビジョン)
カネダイが2035年になりたい姿であり、身近なゴール地点となります。

バリュー(社是)

和心誠心 ~和をもって接し誠をもって奉仕する~



「和心」：物腰柔らかく接し、まずは受け入れて、相手と仲良くすること。
 「誠心」：嘘をつかず、誠実に相手と向き合うことで、信頼を得られること。

相手を尊重する気持ち（和心）を持った上で、相手のため・会社のためになることは、遠慮せず相手に率直な思いを伝えられる姿勢が大切。

- 各事業部ごとに当てはめると…
- 水産食品：商品を販売するにあたって、カネダイの不利益になることも正直に伝える(営業)
 広く文化を受け入れ、仲間として共に働く(工場)
- 漁業：自社の船にトラブルが起きた際、素早い対応ができるよう、常に船員さんに寄り添う
- 廻来船：船員さんからのお願いを快く受け入れ、誠実に対応する
- 総合エネルギー：お客様がガスや石油を滞りなく快適に利用頂くために、迅速な対応を心がける
- 総務：社員同士の人間関係を取り持ち、組織が円滑に機能するように支える

ビジョン (目指す姿)

ローカルにあってグローバルに活躍するプロ集団

カネダイに関する全ての場所で、その土地ならではの強みを支え、活かしていく。
 何か負けないものは社員それぞれで異なる。
 だからこそ、一人一人の強み・個性を活かしあいながら、チームまたは個人で最高のモノ・サービスを作りあげる。仕事にやりがいを感じながらも、責任を持って挑戦を続ける。

- 各事業部ごとに当てはめると…
- 水産食品：烟台や気仙沼といった地域から自社製品を海外に販売
- 漁業：船員さんをさらにサポートするために、
 一人一人が自分の専門分野で何ができるのかを考える = 深化させる
- 廻来船：気仙沼（ローカル）で広く船のサポートをしている
 外国人船員さんの直接的なサポート（グローバルに活躍）
- 総合エネルギー：燃料・通関手続きという面から、グローバルな漁業活動を支えている
- 総務：海外送金やグローバル人材の採用で、グローバルに活躍している

ミッション (使命)

人と価値をつなぐ



本来つながらないものがカネダイを通じてつながることで新たな価値が生まれる。
 場所には人がいるからこそ、食卓、市場、海などといった場所から価値を見出し、そこにいる人とつないでいく。

- 各事業部ごとに当てはめると…
- 水産食品：メーカーと市内の飲食店や施設、お客様とあらゆる商品(営業)
 お客様と海鮮(工場)
- 漁業：漁師と食卓、海外と気仙沼
- 廻来船：漁師と食卓、漁師と気仙沼
- 総合エネルギー：石油やガスとお客様
- 総務：社員と気仙沼、社員と健康、社員とデジタル

食とくらしを明るくする



カネダイに関わる人々の食とくらしを明るくする。

- 一、カニやマグロなどを食べることで、食卓を囲むお客様の顔を明るくすることができる。
- 二、ガスや石油などのエネルギーを通して、家を温かくすることでお客様の顔を明るくすることができる。
- 三、魚を獲ってきてくれる船員さんのサポートを通じて、船員さんの顔を明るくすることができる。

これら3つの意味を通して、これまで以上にお客様の顔を明るくし続ける。

課題解決に貢献する



「カネダイとしてできることは何か」と常に考え、その課題の大小は問わず、全力で取り組む。地域にありながらも、日本全国・世界で活動しているカネダイだからこそ、地域から世界まで幅広い課題を解決する。

- カネダイ全体、各事業部ごとに当てはめると…
- 会社として：地域への寄付、社員を雇うことによる雇用創出
- 水産食品：ふるさと納税で気仙沼に貢献
- 漁業：外国人船員の雇用で世界の失業率の減少に貢献
- 廻来船：カツオの水揚げ量日本一に関わり、気仙沼市の漁業の盛り上げに貢献
- 総合エネルギー：灯油の配送で灯油難民の生活サポートに貢献
- 総務：気仙沼市内に人材を誘致（Uターン、Iターン等）、働き方改革

+大切にすること

当たり前のことだからこそ、あえて言葉にし、常に意識したいこと。日々の仕事の質を高める、行動指針の三原則。

- 「人を大切にする」：どの場面においても、カネダイに関わる全ての人を大切にする。
- 「安全を重視する」：工場、出張中、どんな時も自分自身・周囲の人の安全が1番大切。
- 「挑戦と工夫」：長期的にカネダイとして生き抜くためには挑戦と工夫が大切。